

令和4年度 森林路網DX推進事業 森林路網（林道）デジタル情報収集調査業務

| 番号 | 内容                | 質問内容  | 回答  |
|----|-------------------|---|---|
| 1  | 重要構造物等の概数         | 重要構造物（橋梁、トンネル等）、森林整備（林業）作業用施設（集材場等）の想定する概ねの箇所数を教えていただくことは可能ですでしょうか。   | 重要構造物は、橋梁91箇所、トンネル4箇所です。森林整備（林業）作業用施設（集材場等）は把握していません。   |
| 2  | 維持管理及び利用状況        | 維持管理及び利用状況の把握とはどのような調査結果を期待されていますでしょうか。アウトプットイメージをご提示いただいた上で適切な提案をしたいと思えます。   | 林道の起点及び終点の標識、門扉（施錠）、注意看板等の状況、草刈りや側溝等の維持管理の状況、一般利用の状況、周辺の森林整備概況等がわかるものをイメージしています。  |
| 3  | 現地調査の視点と調査方法と調査成果 | 現地調査の視点が6項目あるがそれぞれどのような調査方法と調査成果をイメージされていますでしょうか。また、これらの目的や機能の発揮に役立つようなデータの収集を行うという理解で良いでしょうか。お持ちのイメージを共有いただいた上で適切な提案をしたいと思えます。                           | <p>ア 森林管理や森林施業のための重要な社会基盤の適切な管理（施設の長寿命化も含む。）について、調査方法は、市町村等への聞き取り、文献、現地調査等をイメージしています。調査成果は、森林路網が持続的に利用できる状況にあるか（幅員、路面の状況、重要構造物等の経年劣化はないか）等がわかるものをイメージしています。</p> <p>イ 地域交通の中での位置づけ及び林内路網の一環としての機能について、調査方法は、市町村等への聞き取り、文献、現地調査等をイメージしています。調査成果は、国道、県道、市町村道、農道等との接続状況、林道の幹線、支線、作業道等との接続状況がわかるものをイメージしています。</p> <p>ウ 危険個所の把握、災害の未然防止、災害時の迂回路など防災機能、調査方法は、市町村等への聞き取り、文献、現地調査等をイメージしています。調査成果は、森林路網が持続的に利用できる状況にあるか（法面崩壊、路肩決壊、路面洗掘、落石、倒木等はないか）、災害発生時に迂回路として利用できるかがわかるものをイメージしています。</p> <p>エ 水源、景観、文化財（史跡名勝、天然記念物等）など、地域の生活機能、文化の維持・向上について、調査方法は、市町村等への聞き取り、文献、現地調査等をイメージしています。調査成果は、水源地、集落、観光地（登山口等も含む）などを結ぶ路線であるかがわかるものをイメージしています。</p> <p>オ 観光振興等、地域間の活発な交流を支え、活力ある地域づくりの推進上について、調査方法は、市町村等への聞き取り、文献、現地調査等をイメージしています。調査成果は、林道を使ったイベント（地域の祭り、ウォーキング、サイクリング等）が行われているかわかるものをイメージしています。</p> <p>カ その他、必要な指定について、調査方法は任意。調査成果は、ア～オ以外で調査を実施する中で明らかになった林道の特長など特記事項がわかるものをイメージしています。</p> |
| 4  | 林道線形データ           | 林道線形データは1条線だけの整備であるか、2条線としての整備も含まれますでしょうか。  | 林道線形データは1条線での整備を想定していますが、提案を拘束するものではありません。  |
| 5  | 貸与データ             | 貸与データの内、CS立体図データは平成25～26年に実施した航空レーザ測量をもとに作成されているとのことですが、それ以降に開設が行われた林道があった場合、その林道はCS立体図から読み取れないと考えられます。業務仕様書（案）5-(5)における、CS立体図等と照合する作業の扱いはどのようになりますでしょうか。 | 平成27年度以降の開設林道については、CS立体図等との照合ができない区間がわかるようにデータ整理してください。   |
| 6  | 貸与データ             | 貸与データの内、県森林GIS路網データ（shape）に調査予定の民有林林道475路線は含まれているのか。含まれている場合、業務仕様書（案）5-(5)で作成する林道線形データ（shape）は、貸与された県森林GIS路網データをもとに編集する形になると考えてよいでしょうか。                   | 現在の県森林GIS路網データ（shape）は精度が低く民有林林道475路線の一部しか含まれていないため、業務仕様書（案）5-(5)で作成する林道線形データは、現地調査結果をもとに編集する形になります。  |
| 7  | 検討委員会等            | 検討会の想定開催回数を教えてください。   | 3回程度を想定していますが、提案を拘束するものではありません。   |
| 8  | 検討委員会等            | 業務仕様書（案）5-(6)において、「受注者は、森林路網デジタルの適切な仕様、管理、運用、活用方法等について、有識者からなる検討委員会等を設置して検討するものとする。」とありますが、検討委員会等の具体的な内容、参加者や規模などは全て受注者が調整、決定などを行うと考えてよいでしょうか。            | 検討委員会等の具体的な内容、参加者や規模などについては、打合せ協議を通じて、詳細を詰めていくことを想定していますが、基本的に受注者が主体となって調整、決定などを行うと考えていただいで結構です。  |
| 9  | その他               | 民有林林道475路線の概ねの総延長を教えてください。  | 今回対象の民有林林道475路線で概ね771.9kmです。  |
| 10 | その他               | 判読により路線数や路線延長が大幅に増加した場合に、企業努力で対応できないような数量が予見された場合、契約変更はご検討いただけますでしょうか。  | 業務内容の変更は検討します。  |
| 11 | その他               | 下請申請による現地調査は可能ですでしょうか。  | 可能です。   |